

〈訂正〉

調整池に浮遊する油状物質の分析事例

土田大輔・古閑豊和・森山紗好・藤川和浩・志水信弘・石橋融子・田中義人・松本源生・馬場義輝

〈福岡県保健環境研究所 年報第42号，95－98，2015〉

上記短報について、以下の3箇所を訂正いたします。（[正]Web公開版、[誤]製本掲載版）

①p.96 表1のカラムおよびカラム温度

[誤] カラム DB-5

カラム温度 40℃（2min）→10℃/min→280℃（2min）

[正] カラム DB-5 MS

カラム温度 150℃（4min）→4℃/min→250℃→20℃/min→300℃（10min）

②p.96 3 結果および考察（下4行目）

[誤] リノレン酸メチルエステル

[正] リノール酸メチルエステル

③p.97 図1のピーク名

[誤] #2 リノレン酸メチルエステル

[正] #2 リノール酸メチルエステル

以上